

令和2年 第2回柳津町議会定例会

一 般 質 問

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1 番 磯目 泰彦	1、学校教育の充実について	教育長
5 番 岩渕 清幸	1、災害発生時における避難所の新たな考え方について	町長
3 番 伊藤 純	1、本町における新型コロナウイルス感染症に係る今後の課題について	町長
7 番 田崎 信二	1、新型コロナウイルス感染に対する考え、取り組みについて	町長 教育長
10 番 齋藤 正志	1. 新型コロナによる政府の緊急事態宣言解除にあたり今後の町の対応・取り組みについて	町長 教育長
2 番 新井田 順一	1. 新型コロナウイルス感染症に伴う児童・生徒への心の配慮と学習支援について	教育長
	2. 畜産業者による臭気対策について	町長
8 番 荒明 正一	1. 道路行政の今後の考え方について	町長
	2. 道路の安全性の確保と管理の在り方について	町長

質問者：1番 磯目 泰彦 議員

件名及び要旨	答弁者
1、学校教育の充実について	教育長
<p>令和2年度の重点事業にある「学校教育の充実」の10の施策は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為臨時休校となったことで、年度当初から厳しい事業執行となることが予想されています。</p>	
<p>しかし、もっと深刻な状況は授業が受けられない児童と生徒であることを忘れてはなりません。</p>	
<p>そこで、町としては教育の充実を図るためにも学校への通学サポートとしてスクールバス及びふれあい号、会津バス定期の補助等様々な支援をしていますが、本年度よりふれあい号とスクールバス機能の按分率の改定がなされたことから、児童生徒数と在住地区の減少が顕著であり、今後もこの状況は続くと考えられますが次の点において町の考えを伺います。</p>	
<p>① 令和2年度柳津町の学校教育の冊子において重点施策5つ、及び基本事業21のどの項目に児童、生徒の登下校時の安全を確保する内容が含まれているのか。</p>	
<p>②バス通学での安全管理はどのようにしているのか。また、徒歩通学の児童、生徒の安全管理はどうか。</p>	
<p>③本庁及び支所地区においても交通量の多い国道並びに県道の一部スクールゾーンとして利用し、徒歩にて通学している地区は増加か減少の方向か。</p>	
<p>④児童、生徒数と在住地区の減少は今後も続くと考えられるか。</p>	
<p>⑤通学距離の制限を無くして、希望する児童、生徒はバス通学(ふれあい号、会津バス、スクールバス)とし、より一層の安全に努めるべきでは。</p>	
<p>⑥通学にはなぜ、徒歩とバス通学があるのか。</p>	
<p style="text-align: right;">(教育課)</p>	

質問者：5番 岩渕 清幸 議員

件名及び要旨	答弁者
1、災害発生時における避難所の新たな考え方について	町長
<p>昨年の台風19号接近時において、初めて町内全域に避難指示が出されたことは記憶に新しく、あらためて事前の準備や早めの対応について考えさせられました。また近年は地球温暖化の影響によるものか、異常気象が世界的に多くなったような気がします。</p>	
<p>柳津町はその地形的条件から、大雨による被害が過去何回も発生し、今年も冬期間の降雪量の少なさから、不純な天候を予想する方もおります。また新型コロナウイルスの感染が蔓延したことによって、避難所における感染症対策にも</p>	
<p>力を入れなければならないことは明白です。</p>	
<p>これから季節は梅雨に入り雷雨が発生しやすくなり、また秋の台風シーズンも来る事から、災害に備え新たに検討しなければならない事案もあると考えます。避難所を開設する際の考え方について町の考えを伺います。</p>	
<p>① ソーシャルディスタンスの確保の観点からも、可能な限り多くの避難所を開設する必要があると思われませんが、旅館やホテル、あるいはほかの民間の施設と協定を結ぶ考えはあるか。</p>	
<p>② 災害の種類によっては、集会所が安全な場所に建てられているとは限らない地区がかなりあると思っている。洗い出しを進める必要があると思うか如何か。</p>	
<p>③ 高齢者や、体の不自由な方のため、地区内の安全な家屋や友人宅等への避難を検討するなど、一斉避難とは別の分離避難についての考えは。</p>	
<p>④ 避難所におけるクラスター防止のため、マスク、消毒薬、手洗い石鹸、体温計などの備蓄は当然ですが、手洗いの指導や、消毒、除菌などを行うための避難所スタッフの育成も必要であると考えているが如何か。</p>	
<p>④ 避難所における感染防止のためのマニュアルは整備されているか。</p>	
<p>⑥ 避難所の健康状態を確認するために「健康チェックリスト」は整備されているか。</p>	
<p>⑦ 規模の大きい避難所におけるプライバシーの確保と居住区分についての考え方は。</p>	
<p style="text-align: right;">(総務課)</p>	

質問者：3番 伊藤 純 議員

件名及び要旨	答弁者
1、本町における新型コロナウイルス感染症に係る今後の課題について	町長
①本町の観光、商工産業における、現在までの入込客数や宿泊客数の減少について、現状把握はしているのか伺う。	
②町内旅館・飲食店等全般にわたる、経済状況は厳しいが、損失等については試算はしているのか伺う。	
③ ①、②について、明らかに減少していると思われるが、今後観光業、商業、農業、建設建築業等全般の産業について、コロナウイルスの影響はあり得ると考えるが、今後の支援事業対策は考えているのか伺う。	
	(地域振興課)

質問者：7番 田崎 信二 議員

件名及び要旨	答弁者
1. 新型コロナウイルス感染に対する考え、取り組みについて	
	町長、教育長
① 新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言が解除され、新しい生活様式の定着協力が県より求められ、感染者が確認されていない会津地方は第2波、第3波が考えられる中、安全という保証はなく、当町としては町民に対し今後どの様な指導を行っていくのか伺いたい。	
	(総務課)
② 学校教育について、感染拡大に伴う臨時休校による長期化分の学習を来年度に繰り越さないように、各市町村では今年度の夏休みと冬休みの期間を短縮し、新たな授業日を設ける方針が発表されてきているが、当町の見解を伺いたい。	
	(教育課)

質問者：10番 齋藤 正志 議員

件名及び要旨	答弁者
1. 新型コロナによる政府の緊急事態宣言解除にあたり今後の町の対応・取組みについて	町長、教育長
<p>世界中が新型コロナウイルスによって未曾有の大惨事にみまわれている中で、日本は緊急事態宣言の解除に至ったところです。この間、町はスピード感を持ち、独自の支援策や支援金の給付と、対応については評価するところであります。今後も国や県の対応に応じて、経済対策や、弱者といわれる町民の生活維持のため、しっかりと町政にあたっていただくよう願います。</p>	
<p>その中で2点について伺います。</p>	
<p>① 町内の小学校、中学校においては授業の不足分は県の教育委員会の意向もあると思いますが、どのように解決をしていくのか？また、受験を控える中学3年生に対しては対策を考えているか。更に大学受験者は各高等学校にまかせるだけでいいのか。町の考えを伺います。</p>	
<p style="text-align: right;">(教育課)</p>	
<p>② 言わずと知れた観光の町を自負する柳津町は今回のコロナ禍により観光業は多大な被害を受けた所です。緊急事態宣言解除を受け、事業者が様々な感染防止策を講じながら徐々に営業を再開していくと思われます。ワクチンの開発が進まないうちは客足が戻る事も、多くの人を一度に受け入れることも難しいと思われます。その中で、今、コロナ禍が終息したときに更に魅力あるまちづくりを考えておかなければと思われます。</p>	
<p>歴史的風致維持向上計画の進捗とあわせ町の考えを伺います。</p>	
<p style="text-align: right;">(地域振興課)</p>	

質問者：2番 新井田 順一 議員

件名及び要旨	答弁者
1. 新型コロナウイルス感染症に伴う児童・生徒への心の配慮と学習支援について	教育長、町長
<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休校中も命を守る教育、ICT機器を用いた学習、家庭訪問等を実施され、5月25日から学校再開されていることに感謝いたします。つきましては、今後の教育活動について次の4点質問いたします。</p>	
①感染症拡大防止対策の徹底について	
②臨時休校による学習の遅れ対策と学校行事への影響について	
③各種大会の中止により目標を失った生徒への配慮について(特に中学3年生)	
④感染症の第2波、第3波対策について、臨時休校になれば全児童・生徒にオンライン家庭学習が必要と思われるが、タブレットの全員貸与や、特に受験生に対して民間のオンライン教育を活用する考えはないか。	
(教育課)	
2. 畜産業者による臭気対策について	町長
<p>畜産業者による臭気対策については麻生地区だけの問題ではなく只見川上下流域、郷戸原にまで至っている。近頃暖かくなり、また頭数が増加したせいか臭気が強くなり、時間も長くなってきたと苦情が寄せられている。業者の対応と町の指導が町民に見えていない。共存する為には現状をお知らせすべきと思われるが伺います。</p>	
(地域振興課)	

質問者：8番 荒明 正一 議員

件名及び要旨	答弁者
1. 道路行政の今後の考え方について	町長
①道路についての1つの考え方として人間の血管を道路としてとらえて考えれば、新しい時代の道路行政としての発想の転換になるのではないかと思うが、町長はどう思いますか。	
②町民、特に山間地に住む高齢者は道路が良くなることが大きな生きがいとして考えておられる方が多くいると思われそうですが町長の考えを伺います。	
	(建設課)
2. 道路の安全性の確保と管理の在り方について	町長
①道路の安全走行を考えた時、最も大事な事は何だと思うか町長に考えを伺います。	
②限界集落が多くなっている現状で、草刈りが大変な状況を町長はどの様に受け止めておられるか伺います。	
③ 特に今年の場合は、新型コロナ対策の1つとして各集落について草刈りをしてくださった礼として、1万、2万、3万それぞれ状況に応じた対策を取るべきと思うが、町長の考えを伺います。特に高齢者の地域については草刈りの応援体制をとるべきと思うが伺います。	
	(建設課)